

KANEPACKAGE GROUP OF COMPANIES

KP Green Earth

A CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY PROJECT NEWSLETTER



埼玉県
SDGsパートナー



SDGs 未来都市
埼玉県



私たちは、包装設計と梱包材、そしてサービスを通じ、『驚き』と『感動』と『安心』を、世界の一つでも多くの国の、一人でも多くのお客様に、スピーディー且つタイムリーにお届けしていきます。

またステークホルダーからの信頼と企業価値を高め、エクセレントカンパニーを目指していきます。

目次

ご挨拶	02
会社概要 CSR基本方針	03
CSR活動地域	04
カネパッケージの気候変動対策 ・ ブルーカーボンへの投資	05
フォレストカーボンプロジェクト ・ マングローブによるCO ₂ 吸収の可能性調査	06
マングローブ植樹活動 ・ 企業同士の連携で未来へつなぐ ・ 未来への希望の種を育てる ・ 第35回マングローブ植樹ツアー	07 08 09
地域への支援 ・ 安倍昭恵氏-当グループのマングローブ植樹活動へご参加 ・ 新ヘルスセンターの寄贈 ・ セブ州オランゴ島での医療支援 ・ 当グループ関連会社より医療機器の寄贈 ・ デイケアセンターへの継続的な支援 ・ クリスマスプレゼントで子供たちに笑顔を	10 11 12 13 14 15
寄付活動 ・ 台風被災地への支援活動 ・ 台風被災従業員への支援	16 17
今後の目標 CSR活動 ・ カネパッケージ フィリピン社 ・ カネパッケージ インドネシア社 ・ カネパッケージ ベトナム社 ・ スーパー・フレックス・ロジスティック社	18 18 18 19 19
メッセージ	20
地域からの感謝状	21
カネパッケージグループ 拠点紹介	22



ご挨拶

金坂 良一

カネパッケージ 株式会社 - 代表取締役社長

お客さま、関連会社、プロジェクト・パートナー皆さまの日頃の信頼とご支援に心より感謝申し上げます。皆様のおかげで、CSRとSDGs活動を継続することが出来ました。当社のCSRおよびSDGsプログラムの成功とその影響は、「驚き」「感動」「安心」を届けるという当社のビジネスDNAと深く共鳴しています。

私たちは皆、唯一の惑星である母なる地球を大切にする一員です。企業市民として、私たちは母なる地球の保護に投資を行い、地域社会に還元するという取り組みを続けていきます。この環境投資の成果は、すぐに金銭的な利益として表れるものではないかもしれませんが、その価値は確実に次世代へと受け継がれていきます。

私たちの長期目標は、2050年までにカーボンニュートラル企業になることです。この目標は大変なことに思えますが、私たちはビジネスモデルの革新を続け、事業投資と環境投資を両立させる方向に転換していきます。CSRやSDGs活動を通じてグリーンインフラやブルーカーボンに取り組んできたことは、すでにこの目標達成への道筋といえます。

私たちの主要な環境活動であるKPGreen Earthは、1500万本のマングローブを植林するという新たな節目を迎えました。この取り組みは、業界からの支援やパートナーをさらに集め続けています。これは、私たちの活動が持続可能性と収益性を両立することを立証するものであります。

今年、私たちはフィリピン・セブ州オランゴ島に、医療機器を備えた2階建ての新しい診療所を寄贈しました。これは、カネパッケージグループのCSRおよびSDGs活動の新たな取り組みの一環です。この診療所では、医師が定期的に訪問し、無料診療を提供しています。特に、医療へのアクセスが限られている患者にとって、地域の医療サービスの大幅な向上が期待されています。

2009年以降を振り返って、私たちは企業や政府、そしてとりわけ地域社会におけるパートナーの圧倒的な支援に感謝しています。私たちが共有する価値観と持続可能性に向けた取り組みに導かれながら、皆様とともにこの活動を続けていくことに喜びを感じています。

私たちは、グリーン・インフラストラクチャーとブルー・カーボンへの投資を行うことで、より良い未来を築くために、地域社会全体で協力していきます。これらの活動の成功の一翼を担っていただき、誠にありがとうございます。

会社概要

会社名	- カネパッケージ株式会社
設立	- 昭和51年(1976年)9月29日
資本金	- 5,000万円
従業員数	- 1,000 名(関連会社含む)
事業内容	- ・各種緩衝材・設計・試験・製造・販売 ・段ボール・ソフトパック等のOA機器のパッケージ販売 ・(海外キット製品管理・梱包・総合物流サービス)
役員	- 会長 兼平 作太郎 代表取締役社長 金坂 良一 常務取締役 高村 賢二 取締役 勝野 旭、兼平 良太、兼平 裕二

CSR基本方針

企業の社会的責任(CSR)および持続可能な開発目標(SDGs)は、社会に良い変化をもたらす仕組みとして、世界的に認知されつつありますCSR活動や企業戦略をSDGsと連携させることで、企業はより持続可能な未来に貢献し、評価を高め、競争が激化する今日の市場において優位に立つことができます。

カネパッケージグループのCSR活動は、SDGsの目指す方向性に沿って、

- 1) 環境の持続可能性、
- 2) 社会的影響、
- 3) 経済成長

の3つの柱で構成されています。

当社は、これらのCSR活動を通じて、従来の枠にとらわれないビジネスを展開し、社会により良い変化をもたらす、すべてのステークホルダーにとって長期的な価値を築くことを目指しています。

グリーン・インフラストラクチャーとブルーカーボン

・プロジェクトへの投資を継続することを約束し、
2050年までにカーボンニュートラル企業になることを目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 環境の持続可能性



ブルーカーボン マングローブ植林活動

2 社会的影響

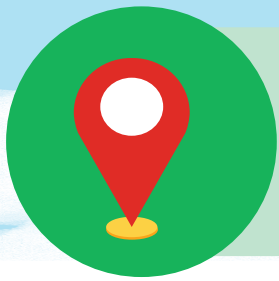


教育と医療サービス

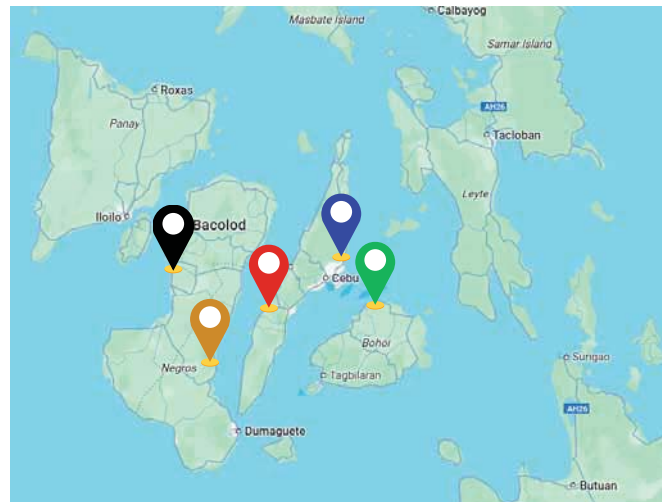
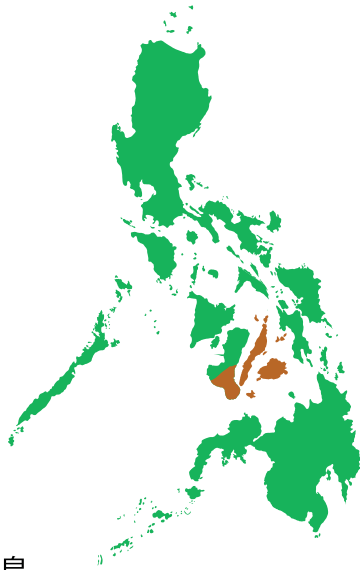
3 経済成長



雇用、生計、
地域コミュニティとの協力



CSR活動地域と協力団体 のご紹介



バナコン島

Banacon Island, Bohol



- 協力団体: Banacon Fisherfolks and Mangrove Planters Association
- 取り組み開始時期: 2011年
- 植林面積: 250 ヘクタール



バディアン

Badian, Cebu



- 協力団体: Dungguan Atub Fisherfolks Association and Bugas Farmer, Fisherfolks and Livelihood Association
- 取り組み開始時期: 2017年
- 植林面積: 6ヘクタール



オランゴ島

Olango Island, Cebu



- 協力団体: Olango Island Eco-tour Association
- 取り組み開始時期: 2009年
- 植林面積: 10ヘクタール



タンジャイ市

Tanjay City, Negros Oriental



- 協力団体: Manipis Fisherfolks Association
- 取り組み開始時期: 2013年
- 植林面積: 1ヘクタール



ビナルバガン

Binalbagan, Negros Occidental



- 協力団体: Nabuswang Ecopark Mangrove Plantation Association
- 取り組み開始時期: 2019年
- 植林面積: 2.5 ヘクタール

カネパッケージの 気候変動対策 ブルーカーボンへの投資



「ブルーカーボン」という言葉をご存じですか？ もしかすると、あまり馴染みのない言葉かもしれません。でも実は、皆さんが思っている以上に、私たちの生活に深く関わっているのです。ブルーカーボンとは、マングローブや塩性湿地、海草といった海洋・沿岸の生態系によって吸収・隔離される炭素のことを指します。これらの自然の力が、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)を取り込んでくれているのです。私たちの暮らしやビジネス活動によって、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガス(GHG)は日々大気中に排出されています。こうしたガスが大気中に増え続けることで、地球全体の気候に大きな影響を及ぼすようになってきました。そのような中で、ブルーカーボンをはじめとする自然の力を活用する取り組みが、気候変動対策として注目されているのです。

その気候変動の影響を緩和するための取り組みは、企業の間にも革新を促し、特にマングローブによる「ブルーカーボン隔離」への投資が進みつつあります。マングローブは、環境・社会・経済の側面でも多くの恩恵をもたらす重要な生態系です。近年の研究では、マングローブや沿岸湿地は熱帯雨林よりも多くの炭素を隔離することが明らかになっています。こうした背景を受けて、カネパッケージでは2009年より、環境天然資源省(DENR)との連携のもと、主力プログラム「KPGreen Earth」を通じてブルーカーボン・マングローブプロジェクトに取り組んできました。この先駆的なプロジェクトは、セブ島およびボホール島の地域協力団体と協力しながら進められています。私たちは皆、地球というかけがえのない惑星の「株主」です。



企業市民として、カネパッケージはこれからも地球環境を大切に、地域社会へ恩返しをしていく姿勢を貫いています。この環境への投資は、すぐにお金という形で戻ってくるものではないかもしれませんが、けれども未来を生きる世代へと受け継がれていく—それこそがより大きな“配当”になると私たちは信じています。

フォレストカーボンプロジェクト

マングローブによるCO₂吸収の可能性調査



カネパッケージは、マングローブ研究の拠点であるセブを通じて、新明和工業株式会社様およびDeepForest Technologies様と連携し、セブとボホールにおけるマングローブのCO₂吸収量に関する予備的な可能性調査を実施しました。この取り組みは、2050年までにカーボンニュートラルな企業となることを目指す、当グループの長期目標の一環です。幅広い製品とサービスを展開する新明和工業株式会社様は、マングローブプロジェクトのさらなる拡大を目指して当グループと協働し、

マングローブが蓄積する炭素量の評価においては、DeepForest Technologies様の専門技術を活用しています。DeepForest様は、森林内の樹木をドローンとAIを用いて識別する革新的な技術を開発し、この技術は森林管理、炭素吸収量の推定、生物多様性保全など、さまざまな環境課題への応用が期待されています。本調査ではすでに、現地でのフィールドワーク、協力団体との対話、政府機関との調整を進め、今後はこの調査結果をもとに、

炭素モニタリング・報告・検証や地域との連携計画などを含む、具体的なプロジェクト提案の策定が進められる予定です。

本取り組みは、気候変動に対する自然由来の対策として、フォレストカーボンプロジェクトの重要性がますます高まっていることを示しています。

『自然を活かした解決策』は、地球環境の課題に対して、自然の生態系が持つ力を活用する新たなアプローチとして注目されています。



マングローブ植樹活動

企業同士の連携で未来へつなぐ



フィリピンで進めているマングローブ植樹活動には、日本の他企業からの賛同も年々増えています。2024年10月11日～14日には、バナコン島のボホール州ヘタフェにて、企業の皆さま向けに第33回目となるマングローブ植樹ツアーを実施しました。今回は6名の方々にご参加いただき、地域の皆さまのご協力のもと、3,500本の苗木を植えることができました。植樹地を歩きながら、参加者の皆さまには、2011年から植え続けてきたマングローブが様々な高さに成長している様子を実際にご覧いただき、豊かな自然に囲まれたバナコン島の風景にも感動されていました。植樹の前日には、カランバ市にあるカネパッケージ・フィリピン社の工場を訪問し、見学いただきました。またボホール滞在中は、チョコレートヒルズやターシャ保護区など、ボホールならではの観光もお楽しみいただき、学びと発見に満ちた有意義なツアーとなりました。



マングローブ植樹

未来への希望の種を育てる



カネパッケージグループは、旗艦環境活動である「KPGreen Earthマングローブプロジェクト」への取り組みをさらに深化させるべく、2024年9月28日、セブ・オランゴ島にて特別なマングローブ植樹活動を行いました。

この記念すべきイベントは、当グループの代表取締役社長 兼 CEO である金坂良一氏の主導のもと開催され、日本の公益財団法人「社会貢献支援財団 (FESCO)」の安倍昭恵理事長、そして大分工業高等専門学校の学生および教員のボランティアとともに行われました。今回で34回目を迎えるマングローブ植樹では、計750本の苗木が植えられました。

長年にわたり、多くの企業様や団体様からこの植樹活動を支援いただき、パートナーとしてご参加いただいております。2018年には、FESCOより当グループのフィリピンにおけるマングローブ活動が評価され、表彰を受けました。この受賞が、当グループの環境活動への志をさらに高め、今年の植樹活動で F E S C O の ご 参 加 へ と つ な が り ま し た 。 2009年のプロジェクト開始以来、カネパッケージはすでに1,480万本を超えるマングローブを植樹してきました。この植樹活動は、持続可能性と企業の利益が両立できることを証明するものであり、そして、他の企業様にも影響を与え、ビジネス投資と環境投資のバランスを見直すきっかけを生み出してきました。「恩返しの心」が、企業の中で少しずつ根づき始めています。本プロジェクトは、企業がどのようにして環境課題への貢献を果たしていけるかを示す、ひとつのモデルケースとなっています。

「恩返しの心」が、企業の中で少しずつ根づき始めています。本プロジェクトは、企業がどのようにして環境課題への貢献を果たしていけるかを示す、ひとつのモデルケースとなっています。



マングローブ植樹活動

第35回マングローブ植樹ツアー



カネパッケージが実施するマングローブ植樹ツアーは、各拠点の従業員同士がつながる貴重な場となっています。話す言葉は違っても、「地球の未来のために行動したい」という想いはひとつ。この植樹活動は、気候変動の影響を少しでも和らげるために、当グループが大切にしてきた価値観と真摯な姿勢を体現しています。2024年11月21日から24日にバナコン島ボホール州ヘタフェにて、第35回目となるマングローブ植樹ツアーを実施しました。今回の植樹活動には、当グループの関係会社に加え、

三菱UFJ銀行 所沢支店様、日本システムケア株式会社様、KGSコーポレーション セブ工場様の皆さま、総勢46名が参加。現地バナコンでの協力団体の皆さんの協力を得て、1万本の苗木を植えることができました。ツアーは4日間にわたって行われ、まずはリマにあるカネパッケージ・フィリピン社の工場見学からスタート。海外からの参加者は現地スタッフの温かい歓迎を受け、またツアーの終盤には、ボホールの観光地にも立ち寄り、フィリピンの自然と文化に触れる機会を楽しんでいただきました。また、この植樹活動への個人寄付を行ってくださった山田様へ、感謝の楯を贈呈しました。

このマングローブ植樹ツアーは、当グループの社員が年に2回、実際に植樹を体験し、マングローブの役割と意義を学ぶ機会として、継続的に開催されています。



地域への支援

安倍昭恵氏-当グループのマングローブ植樹活動へご参加

2024年9月28日、セブ・オランゴ島サン・ビセンテにて行われた「ヘルスクリニック贈呈式」へ、安倍昭恵氏にご出席いただきました。

安倍氏は、その穏やかで親しみやすいお人柄で知られ、飾らない姿に多くの人が自然と惹きつけられます。また、日本に拠点を置く「公益財団法人 社会貢献支援財団」の創設者としても知られ、地域社会への貢献や、より良い社会づくりに深い関心を持っておられます。

式典のスピーチでは、「多くの日本企業が地域の人々に恩返しをしていることを知り、大変うれしく思います」と述べられ、このような活動が日本とフィリピンのより良い関係構築につながると信じていると述べられました。また、故・安倍晋三元首相が在任中に両国の平和と友好のために尽力した数々の取り組みについても振り返られました。

この度は、安倍氏の本植樹活動へのご参加に心より御礼申し上げます。



地域への支援

新ヘルスセンターの寄贈



カネパッケージグループは、2024年9月28日から29日にかけて、セブ州ラプラプ市オランゴ島サン・ビセンテ地区において、新たに建設した2階建てのヘルスセンターの引き渡し式を行いました。ヘルスセンターには、地域の医療サービスの向上に貢献するために必要な医療機器や備品も整えております。本取り組みは、当グループのCSR活動およびSDGsの一環です。

式典は、金坂良一代表取締役社長をはじめとする当グループ経営陣によって主導され、来賓には、公益財団法人「社会貢献支援財団 (FESCO)」の理事長である安倍昭恵氏、また、ラプラプ市議会の保健委員長を務めるエミリオ・ガラロサ議員が出席されました。



金坂氏はスピーチの中で、オランゴ島の住民の皆さま、そしてCSR活動に協力してくれたフィリピン環境天然資源省 (DENR) 第7地域事務所への感謝の意を表しました。特に、2023年に実施された最初の医療支援の大きな成果に言及し、今後も島の医療サービスの向上に貢献すべく、定期的にヘルスセンターを訪問する医師を雇用する計画を明らかにしました。また、オランゴ島で展開しているマングローブ活動をはじめとしたCSR活動に対し、FESCOより表彰を受けたことについても謝辞を述べました。

当グループ経営陣は、CSRおよびSDGs活動をこれまで積極的に支援してくださっているオランゴ島の住民の皆さまに深く感謝しており、今回の寄贈は、特に医療サービスへのアクセスが限られている島民にとって、地域における医療体制を大きく向上させるものと期待しております。

地域への支援

セブ州 オランゴ島での医療支援

2024年9月28日から29日にかけて、カネパッケージグループは、セブ州ラプラプ市オランゴ島サン・ビセンテ地区にて医療支援を実施しました。今回の支援では、11名のボランティア医師がご協力くださり、沿岸地域の住民にとって必要不可欠な医療サービスを提供いたしました。

今回の支援では、合計398名の患者へ医療相談、軽度の外科手術、健康への教育、そして無償の医薬品の提供など、幅広い基本的な医療サービスを提供することができました。

この医療支援は、当グループが推進するCSRおよびSDG活動への取り組み、そしてパートナー地域社会の健康と福祉向上に対する当グループの献身的な姿勢を象徴するものであり、このコミュニティでの医療支援の実施は今回で2回目となります。



診療を受けた患者の笑顔や安堵の表情は、私たちのこの活動への情熱と継続的な取り組みをさらに強く後押しするものとなりました。

今年の医療支援は、サン・ビセンテでの新ヘルスセンター施設の贈呈・引き渡し式典と同時に開催されました。当グループの経営陣は、地域の医療支援を継続的に提供することを約束しており、その一環として、今後は定期的にヘルスセンターを訪問する医師を雇用する計画です。

サン・ビセンテ地区の関係者からは、このような支援をもたらしてくれた当グループの取り組みに対して、心からの感謝の意が表されました。



地域への支援

当グループ関連会社より医療機器の寄贈

カネパッケージグループの関連会社である株式会社三幸製作所様および株式会社興伸工業様は、セブ州オランゴ島サン・ビセンテ地区のヘルスセンターに携帯型医療機器を寄贈しました。この寄贈は、2024年9月28日に実施された新ヘルスセンター施設の落成・引き渡し式典にて、サン・ビセンテ地区の区長であるエディルベルタ・エヤス＝ランボホン氏により受領されました。



三幸製作所様および興伸工業様は、日本国内において医療機器の製造および修理を手がけるリーディングカンパニーです。今回の寄贈には、コンパクト吸引器と成人・小児用の救急セットが含まれており、特にオランゴ島のような離島地域における迅速かつ効果的な医療提供を可能にする重要な支援となります。



エヤス区長は、この医療機器の寄贈に対して心より感謝の意を表しました。企業と地域医療機関がCSRおよびSDGの取り組みを通じて築いたこのパートナーシップは、今後も地域医療の発展に貢献し続ける貴重な取り組みとなるでしょう。

地域への支援

デイケアセンターへの継続的な支援

カネパッケージグループの教育支援活動の一環として、支援対象のデイケアセンターに対して、本や学用品の寄贈を行っています。寄贈された本の中には、フィリピン社会福祉開発省 (DSWD) により推奨されている教材も含まれています。

また、サン・ビセンテ (セブ州ラプラプ市オランゴ島) およびマニピス (ネグロス・オリエンタル州タンハイ市) の両デイケアセンターに通う子どもたちには、ノート、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、クレヨンなどの学用品も配布しました。

さらに、マニピス・デイケアセンターについては、施設の老朽化が進んでいたため、安全性と学習環境の向上を目的として、当グループの支援により改修工事を行いました。この支援によって、同施設は安全基準の維持が可能となり、その結果、両デイケアセンターは、DSWDが定める基準および評価指標に基づいた評価において、最高位ランクを獲得しました。



地域への支援

クリスマスプレゼントで子供たちに笑顔を



クリスマスシーズンは、愛を分かち合い、子どもたちの笑顔を引き出す季節です。私たちは毎年恒例となったギフト贈呈を通じて、デイケアに通う子どもたちへ温かい想いを届けています。

2024年は、弊社社長 兼 CEOの金坂氏主導のもと、170名を超える子どもたちに、おもちゃ、衛生用品キット、そしてジョリビーのフードパックが入ったギフトバッグを贈りました。金坂社長は式典の挨拶で、思いやりの心を込めた「ギフト」の意味について触れ、真のホリデースピリットとは、お互いを思いやり、つながりを大切にする事だと述べました。今回の寄贈先は、セブ州オランゴ島のサン・ビセンテ、ネグロス・オリエンタル州タンジャイ市のマニピス、



そしてバナコン島ボホール州ヘタフェにある各デイケアセンターです。これらの地域は、当グループが取り組むマングローブ保全活動の協力地域でもあります。



クリスマスは、一部の家庭にとっては困難な時期でもあります。このささやかな贈り物が、子どもたちに少しでも喜びと希望を届けることができたなら幸いです。今後も、この「与える心」を大切にしながら、地域への貢献を続けてまいります。

寄付活動

台風被災地への支援活動

2024年10月から11月にかけて、フィリピンでは複数の熱帯低気圧（台風）が発生し、各地に被害をもたらしました。これを受け、カネパッケージ・フィリピン社は、同国のテレビネットワークが運営する社会貢献団体「GMAカプソ財団」と連携し、被災地支援に取り組みました。

寄贈には、現金のほか、医薬品、米、缶詰、インスタント麺、コーヒー、ミルク、石けん、シャンプー、歯ブラシ、消毒液など、生活に必要な物資を提供しました。

寄贈式は2024年12月3日に行われ、カネパッケージ・フィリピン社の副社長であるエヴァンジェリン・オルティーリョ氏が、GMAカプソ財団の副社長 兼 COOであるリッキー・エスクデロ＝カティボッグ氏に支援物資を手渡しました。

今回の支援活動は、カネパッケージグループが推進するCSR活動およびSDGsへの取り組みの一環であり、地域社会にポジティブな変化をもたらすという私たちの揺るぎない使命を表しています。



寄付活動

台風被災従業員への支援



カネパッケージグループは、良い時だけでなく困難な時こそ、従業員への支援を惜しみません。2024年に発生した台風クリスティーンの被害を受けた従業員に対して、合計46名に現金支援を行いました。被災にあった従業員は、カネパッケージ・フィリピン社の従業員33名、スーパーフレックス・ロジスティクス社の従業員13名です。



現金支援の配布は、カネパッケージ・フィリピン社 社長の兼平裕二氏主導で行われ、自然災害という困難な状況下においても、当グループは迅速に対応し、経済的支援を通じて従業員を支えています。この思いやりある行動は、「従業員こそが最大の財産である」という企業の理念を体現しています。



CSR & SDG GOALS



継続的な取り組み

- 定期的な企業および地域住民によるマングローブ植樹活動
- 医療支援の実施
- 地域支援対象者への奨学金プログラム



長期的目標

- フォレストカーボンプロジェクトの拡大
- フォレストカーボンクレジットの認証取得
- 2050年までに「カーボン・ニュートラル企業」達成

CSR活動

カネパッケージ フィリピン社



カネパッケージフィリピン社は、フィリピン赤十字社の命を救う活動を支援するため、毎年2月に献血活動を実施しています。この取り組みは、持続可能性およびフィリピンの人々の健康と福祉への揺るぎない貢献の一環です。一人ひとりの献血が、大きな命を救う力になります。

カネパッケージ インドネシア社



孤児や困難な状況にある子どもたちの学びを支える寄付



CSR活動

カネパッケージ ベトナム社

2023 to 2024

VN National Children's Hospital in HN

2011

Social Protection Center in Ba vi

2012 to 2016

Social Protection Center in Dong Anh

2017

CSR 1 village in Hoa binh

2018

CSR 1 village in Yen Bai

2019

CSR in Pogoda in HN

2020

CSR in Quang Ninh

2022

CSR in school in Quang ninh



スーパー・フレックス・ロジスティック社



マングローブ植樹活動
SARIAYA, QUEZON
July 27, 2024

ロマ小学校における
『ブリガダ・エスクウェラ
(学校環境整備活動)』
JULY 26, 2024



メッセージ

Mr. Akira Katsuno

Director

当社は2026年で50周年を迎えることとなります。これも全てはステークホルダーの皆様を支えられて迎えることができましたこと、あらためて感謝申し上げます。

カネパッケージグループは引き続き継続して環境保全活動を推進し、次の50年に向けて進化出来るように邁進して参ります。またグループ全体として、2050年にカーボンニュートラルを目指した取り組みを継続して参ります。このような活動のみならず、社会貢献と企業成長をバランスよく達成していきますので、引き続き宜しくお願いいたします。



Dr. Abner P. Barnuevo

Senior Manager KPGroup Philippines Inc.



カネパッケージグループのKPGreen Earth Projectを担当しているアブナー・バーヌエボ博士が、フィリピン環境天然資源省 (DENR) のマリア・アントニア・ユロ・ロイサガ長官より、オランゴ島野生動物保護区管理委員会の委員に任命されました。任命は2024年9月27日付で、正式な任命状の授与は今年2月に行われました。管理委員会は、保護区における法律や政策の実施状況を監督し、区域内での活動や開発の承認を行うなど、重要な役割を担っています。



また、アブナー博士は「生物多様性および自然保全委員会の委員長」にも任命されました。管理委員会の正規メンバーは、DENRをはじめとする関係省庁の地域局長、州知事、下院議員、市長、 balan-gay キャプテンなどで構成されており、NGO、大学、地域住民代表、民間セクターからの指名メンバーも含まれています。

アブナー博士、ご就任おめでとうございます！

地域からの感謝状



PLAQUE OF APPRECIATION

カネパッケージグループは、オランゴ島のマングローブ生態系の維持管理に継続的に取り組んでいることに対し、感謝状を贈呈されました。



PLAQUE OF APPRECIATION

カネパッケージグループは、子どもたちの育成と支援のために全額奨学金を提供する取り組みを行っていることに対し、感謝状を贈呈されました。



PLAQUE OF RECOGNITION

カネパッケージグループは、サン・ビセンテ地区の地域医療の向上に寄与する取り組みに対し、感謝の楯を授与されました。

カネパッケージグループ 拠点紹介



日本
カネパッケージ株式会社
◦ 埼玉 (本社)
◦ 東北営業所
◦ 白河営業所
◦ 大阪営業所
◦ 神奈川営業所
◦ 東京営業所
設立: 1976年9月29日



フィリピン
カネパッケージ フィリピン社
◦ LAGUNA工場 (Calamba, Laguna)
◦ LIMA 工場 (Lipa Malvar, Batangas)
◦ FPIP 工場 (Sto. Tomas, Batangas)
◦ Cebu 倉庫 (Lapulapu City, Cebu)
◦ Cavite 倉庫 (Rosario, Cavite)
設立: 1996年8月8日



タイ
カネパッケージ タイランド社
Ayutthaya, Thailand
設立: 2006年2月26日



スーパー・フレックス・ロジスティック社
Binan, Laguna
設立: 2004年5月14日



中国
◦ 香港駐在事務所
◦ 開念包装商貿有限公司 蘇州
設立: 2005年



K Pグループフィリピン社
Alabang, Muntinlupa
設立: 2011年7月



ベトナム
カネパッケージ ベトナム社
◦ Hanoi Branch (Dong Anh District, Hanoi)
◦ Amata Branch (Bien Hoa Town, Ho Chi Minh)
設立: 2005年5月31日



インドネシア
カネパッケージ インドネシア社
Lippo Cikarang, Bekasi
設立: 2012年1月3日



KPGroup Philippines, Inc.
Alabang, Muntinlupa
23F Tower 1, Insular Life Corp. Center,
Filinvest, Alabang, Muntinlupa City
Tel. No.: 02 8555 1098

Lapu-lapu City, Cebu
510 iMEZ Bldg., The Outlets at Pueblo Verde,
MEZ2, Basak, Lapu-lapu City, Cebu
Tel. No: 032 8268 5903

